

いのちの声を聞いてみませんか

— 福祉に関する研修会 —

「私ね、ずっと死にたかったのよ」
これまで女性が抱き続けてきた思いが、そのままだま声になって出てきたようだった。
そして泣き笑いされる女性の表情は、最初の冗談めいたよそよそしい笑顔とは違って、どこか安らいだ笑顔のようにもみえた…

『ことばの向こうがわ』より

- | | |
|-----|---|
| 日時 | 2019（令和元）年
7月8日（月）13:30～16:00 |
| 講題 | 東日本大震災での支援活動をとおして
-とくに仮設住宅居室訪問活動の現場から- |
| 講師 | 浄土真宗本願寺派総合研究所研究員
安部 智海 師 |
| 場所 | 本願寺広島別院 安芸門徒会館 共命ホール |
| 受講料 | おひとり 1,000 円 |
| 主催 | 社会福祉推進協議会安芸教区支部
自死に向きあう広島僧侶の会
http://www.inochinohi-hiroshima.com/ |

いのちの声を聞いてみませんか

— 福祉に関する研修会 —

大切な方とお別れしていく、その悲しみをお釈迦さまは「愛別離苦」とお示くださいました。大きな災害が続発した平成が終わろうとする中、広島でも昨年「平成30年豪雨災害」が起こりました。今改めて、苦悩している方との向きあい方が問われています。

この度の研修会講師は「ボランティア僧侶」として、東日本大震災の被災者が入居されている仮設住宅の居室訪問を通して、被災者に向き合ってきた安部智海さんです。この研修会を通じ、支援とは何か、寄り添うとは何かをご一緒に考えさせていただきます。

多くのおみなさまがお越しいただきますよう、お願いいたします。

講 題 東日本大震災での支援活動をとおして -とくに仮設住宅居室訪問活動の現場から-

講 師



浄土真宗本願寺派
総合研究所研究員
安部 智海 師

プロフィール

安部 智海 (あべ ちかい)

1978年生まれ。山口出身。
龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得。
浄土真宗本願寺派総合研究所研究員。
著書に東日本大震災の被災地仮設住宅での活動をまとめた『ことばの向こうがわ』（法蔵館）、共著『<死者/生者>論 -傾聴・鎮魂・翻訳-』（ペリかん社）などがある。

開催日時 2019（令和元）年 7月8日（月）13:30～16:30

開催場所 本願寺広島別院 安芸門徒会館 共命ホール

〒730-0801 広島市中区寺町 1-19

【徒 歩】・JR 横川駅南口 徒歩 10分

・横川駅より広電に乗り換え「別院前」電停下車徒歩 3分

【タクシー】・JR 広島駅よりタクシーで 15分

・広島バスセンターよりタクシーで 10分

【自家用車】山陽自動車道路 広島 IC 出口 20分

【駐 車 場】数台駐車できます。
満車の場合近くの有料コインパーキングをご利用ください。

対 象 どなたでも関心のある方はご参加ください。

参加申込 別紙にてお申し込みください。

受講料 おひとり 1,000 円
受講料の一部は活動費、運営費として活用させていただきます。

お問い合わせ 090-5691-3446（担当：石田）

備 考 私たちと一緒に活動してくださる僧侶スタッフも募集しています（宗派は問いません）。



【主催】 社会福祉推進協議会安芸教区支部
自死に向きあう広島僧侶の会
<http://www.inochinohi-hiroshima.com/>